



〔テウラム塗布剤〕 ヤシマレント 有効成分：テウラム(P R T R ・ 1 種 268) …25.0%	登録番号	第 15839 号
	性状	類白色ペースト
	魚毒性	C類相当
	危険物	—
	有効年限	3年
	包装	(500g × 10) × 2

- ◎特徴
- ペースト状の塗布剤で水及び器具が不要。薬剤とゴム手袋と前掛けで作業できます。
 - 油性の塗布剤で降雨や降雪地帯でも撥水作用があるため長期間の効果が期待できます。
 - 降雨による流亡による環境汚染、散布時の飛散もないので安心して処理できます。

◎使用方法

作物名	適用害獣名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テウラムを含む農薬の総使用回数
すぎ	クマ	植栽木 1 本当たり胸高直径に応じて、 20 cm未満—18 g 未満 20～30 cm未満—18～22 g 未満 30～40 cm未満—22～26 g 未満 40～50 cm未満—26～30 g 未満 50 cm以上は 10 cm増すごとに 4 g 増量	剥皮害発生前	—	地際 30 cm程度の高さに幅 10 cm程度の帯状で、樹幹 周囲に手袋塗布	—
ひのき とどまつ	カモシカ 野ウサギ ニホンジカ	植栽木 1 本当たり 0.8～1.5 g	食害発生前		手袋塗布	
からまつ	カモシカ 野ウサギ ニホンジカ					

◎薬効・薬害等の注意

- 苗木への塗布に際しては、葉の気孔が多くふさがれると薬害を生ずる恐れがあるので、適量を取り、よくのばし、軽く触れる程度に塗布し、すり込むような塗布は避ける。(薬害)
- ひのきの葉に使用するときには、葉の表に塗布し、裏の塗布は避けるよう注意する。(薬害)
- 貯蔵中に油分の分離を生ずることがあるので、使用の際は攪拌して均一な状態としてから塗布する。
- 幼齢木でカモシカを対象とする場合は、葉が食害を受けるので葉に塗布する。また、野ウサギ、ニホンジカを対象とする場合は、枝及び幹も食害を受けるので、葉と枝及び幹に塗布する。(薬効)
- クマを対象とする場合、傾斜地では山側の樹幹周囲約半分に、平坦な場所では幹周全周に、所定量を塗布する。(薬効)
- 使用にあたっては、林業試験場、林業指導所等、関係機関の指導を受ける。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

◎安全使用上の注意

- 取り扱いには十分注意。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 薬剤が眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに十分水洗し、眼科医の手当を受ける。(強い刺激性)
- 薬剤が皮ふに付着しないよう注意。皮ふに付いた場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。(刺激性)
- 使用の際は不浸透性手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗うとともに衣服を換える。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯する。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意する。

魚毒性……通常の使用方法では影響少ない。

残りの薬剤は河川等に流さない。空容器等は、環境に影響のないよう適切に処理する。

保 管……密栓し、直射日光をさげ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。